

伝統芸能を守り続ける 「南お囃子クラブ」

6月1日(土)から「南お囃子クラブ」の活動が始まりました。今年は、1年生から5年生まで13人の子どもたちが集まり、現在、「夏祭り」や「第三コミュニティ文化祭」の発表に向けて練習に励んでいます。この「南お囃子クラブ」は今年で16年目を迎えます。今年度の指導者の皆さんは6人です。

責任者…片柳 義隆 さん《担当…小太鼓・鼓》

奈良 利男 さん《担当…小太鼓》

上岡 正行 さん《担当…笛》

松本 明 さん《担当…大太鼓・鼓》

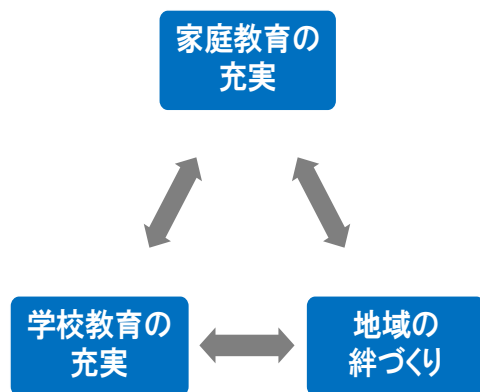
小花隼太郎 さん《担当…大太鼓・鼓》

臼井 朗 さん《担当…笛》



とちぎ未来アシストネット

地域の人々が、教育活動にボランティアとして関わることによって、地域ぐるみで子どもたちの「生きる力」を育むことを、栃木市は今年度も推進しています。その事業を『とちぎ未来アシストネット事業』といいます。



『とちぎ未来アシストネット事業』のイメージ

本校では、5年生に田植えを教えてくださいました片柳さんや、お囃子の練習に携わってくださっている皆様のように、多くのボランティアの方々がいらっしゃいます。

- ① 交通安全ボランティア…児童の安全な登下校を支援
- ② 学習ボランティア…学習支援(栃木翔南高校の高校生や現役の大学生もいます)
- ③ 読み聞かせボランティア
- ④ 課外活動ボランティア
- ⑤ 習字書道ボランティア…習字の授業や表彰状の作成を支援
- ⑥ お囃子ボランティア
- ⑦ 白衣修繕ボランティア…給食で使用する白衣の修繕
- ⑧ 環境ボランティア…松の木のせん定